

第 7 期岸和田市障害福祉計画 成果目標シート

成果目標	福祉施設の入所者の地域生活への移行
------	-------------------

【令和 8 年度末までの目標値】

- ・施設入所者の削減：3 人
- ・地域生活へ移行者数：9 人

【目標設定の考え方】

対象者の抽出、施設や家族の理解と協力が必要。対象者が地域生活のイメージができるような体験の話を聞ける場や相談を行うとともに、施設やグループホーム事業者に対して地域移行についての研修会や意見交換会を実施する。

【施設入所者の削減】

施設入所者数（人）				施設入所者の削減数（人）		
基準日 （令和 4 年 度末）	実施状況 （令和 6 年 度末）	実施状況 （令和 7 年 度末）	実施状況 （令和 8 年 度末）	目標 （令和 8 年 度末）	実施状況 （令和 6 年 度末）	達成率 （%） （令和 6 年 度末）
139	138			3	1	33.3

〈状況分析〉（要因分析・施設入所待機者の状況等・課題や評価できること）

- ・待機者の数の推移傾向については、現状はほぼ横ばいである。

〈令和 7 年度における取組み等〉（課題を解決するための取組み等）

- ・地域包括ケア部会において、地域移行支援事業が行っている精神科病院へ退院支援の働きかけ状況を報告し、退院後の支援につながるように情報共有を行った。
- ・地域移行部会（身体・知的）では、岸和田市内の施設入所者へ実態把握のためのアセスメントシートを作成し、施設へ依頼し実施。対象者への意向確認や外出支援をすすめた。
- ・グループホーム連絡会が自主的な活動として発足し、地域移行時に連携しやすい支援体制づくりを行っている。

【地域生活への移行者数】

施設入所者数（人）

施設入所者 数（人）	地域移行者数（人）						達成率 （%） （令和 6 年 度末）
	目標 （令和 4 年 度末から 8 年度末）	実施状況 （令和 5 年 度）	実施状況 （令和 6 年 度）	実施状況 （令和 7 年 度）	実施状況 （令和 8 年 度）	累計	
139	9	2	2			4	44.4

〈状況分析〉（要因分析・施設入所待機者の状況等・課題や評価できること）

- ・地域移行先内訳は、GHと在宅である。

〈令和 7 年度における取組み等〉（課題を解決するための取組み等）

- ・対象者の抽出方法の検討が必要である。

【令和8年度末までの目標値】

- ・退院後1年以内の平均日数：326日以上
- ・1年以上の長期入院患者数：427人以下
- ・早期退院率：入院後3か月 69%以上
入院後6か月 85%以上
入院後1年 91%以上

【目標設定の考え方】

今後も協議を継続し、地域移行の意欲を維持できる仕組みの構築が必要である。

精神病床における 1年以上長期入院患者数（人）			
基準日 （令和3 年6月末 日）	目標 （令和8 年6月末 日）	実施状況 （令和6 年6月末 日）	達成率 （%） （令和6年 6月末日）
478	427	408	137.3

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・課題：参加者や参加する職種は増えているが、人数が増えるほど発言する人が固定的になりやすい。
- ・評価できること：奇数月に事例検討会、偶数月には地域課題の話し合いが出来ており、参加者する職種もさまざままで参加者も増えている。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・意思決定支援が地域でどのように支援されているのかというテーマの地域課題について、さまざまな職種でグループワークを行い、各機関から意思決定が阻害されている可能性など網羅的に意見を出せるようにした。

【令和8年度末までの目標値】

- ・効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築：整備済
- ・運用状況の検証・検討：年3回以上実施
- ・強度行動障害者の実情や求める支援サービス等に関する調査の実施：実施

【目標設定の考え方】

事業の周知が課題であり広報活動を推進し、引き続き体制の充実に努める。

効果的な支援体制 及び緊急時の連絡体制 の構築		運用状況の 検証・検討 (回/年)		強度行動障がい者の実 情や求める支援サービ ス等に関する調査の実 施	
目標 (令和8年 度末)	実施状況 (令和6年 度末)	目標 (令和8年 度末)	実施状況 (令和6年 度末)	目標 (令和8年 度末)	実施状況 (令和6年 度末)
有	有	年3回以上	6	有	無

〈令和6年度の計画達成状況及び具体的な取組み〉

令和2年度末 整備

令和3年度 相談、緊急時の受入れ・対応から稼働

事業の検証のため自立支援協議会に地域生活支援拠点等整備部会を設置し、年3回開催した。

令和4年度 体験の機会・場の稼働に関する協議

令和5年度 体験の機会・場の稼働

令和6年度 地域生活支援拠点等整備部会の開催回数を年6回とした。相談の機能を果たす事業所がなくなった。

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・課題：事業の認知度が低く、緊急時の受入れ・対応の利用実績がない。体験の機会・場も利用実績が乏しい。
- ・評価できること：少しずつ利用できる施設を増やすための取り組みができています。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・令和7年度から地域生活支援拠点等整備部会の開催回数は年4回となった。
- ・事業の体制整備の拡充を行うとともに、対象者や条件の見直しを協議している。
- ・緊急時の受入れ・対応を行うために、高齢分野で配布しているきんきゅうカード（かかりつけ医、持病などの医療情報や健康保険証の写しなどを専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の際に救急隊によって医療機関にご本人様と搬送され、迅速な治療や親族知人との円滑な連絡を図る）の導入の議論を行っている。
- ・相談支援専門員へ周知すべく、相談支援部会へ参加することを検討している。

成果目標	福祉施設から一般就労への移行等
------	-----------------

【令和8年度末までの目標値】

- ・ 就労移行支援を通じた年間一般就労移行者数：23人
 - ・ 就労継続A型支援を通じた年間一般就労移行者数：7人
 - ・ 就労継続B型支援を通じた年間一般就労移行者数：12人
- } 合計：42人
- ・ 就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所の割合【新規】：6割以上
 - ・ 就労定着支援事業の利用者数【新規】：28人
 - ・ 就労定着支援事業の利用終了後の一定期間における就労定着率が7割以上となる就労定着支援事業所の割合【新規】：2割5分以上
 - ・ 就労支援部会の設置【新規】：設置

【目標設定の考え方】

自立支援協議会の就労支援関係機関情報連絡会での定期的な検討・協議をすすめる。また、工賃向上のため、市からの優先調達発注を進める。

【就労支援移行等を通じた一般就労への移行者数】

就労移行支援等を通じた一般就労移行者数（人）					就労移行支援等を通じた一般就労移行者数（人）				
令和8年度目標					令和6年度実績				
合計	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護・自立訓練	合計	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護・自立訓練
42	23	7	12	0	65	33	18	12	2

達成率（%）（令和6年度）					就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所の割合		
合計	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護・自立訓練	割合（割）（令和8年度）	割合（割）（令和6年度）	達成率（%）（令和6年度）
154.8	143.5	257.1	100.0	-	6	5.0	83.3

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・ 前年度と比べると就労移行支援等を通じた一般就労者数が少し減少した。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・ 就労移行支援等の利用の促しが必要。

【就労定着支援の利用者数・B型事業所における工賃の平均額】

就労定着支援事業の利用者数（人）			就労定着支援事業の利用終了後の一定期間における就労定着率が7割以上となる就労定着支援事業所の割合			就労支援部会等の設置	
目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)	達成率 (%) (令和6年度末)	割合(割) (令和8年度)	割合(割) (令和6年度)	達成率 (%) (令和6年度)	目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)
28	26	92.9	2.5	0.0	0.0	有	有

就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額（円）		
目標 (令和8年度)	実施状況 (令和6年度)	達成率 (%) (令和6年度)
17,031	20,301	119.2

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・B型事業所の工賃は増加している。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・優先調達をさらに進めるために、庁内での啓発周知が必要である。

成果目標	相談支援体制の充実・機能強化等
------	-----------------

【令和8年度末までの目標値】

- ・基幹相談支援センターの設置：設置済
- ・地域の相談支援体制の充実・強化を図る体制の確保【新規】：体制有
- ・協議会において、個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組みの実施及び取組みを行うために必要な協議会の体制確保【新規】：協議会の相談支援部会を年10回開催

【目標設定の考え方】

基幹相談支援センター・委託相談支援事業所・指定特定相談支援事業所の三層構造による相談支援体制の維持・充実に努める。

基幹相談支援センターの設置		基幹相談支援センターにおける地域の相談支援体制の充実・強化を図る体制の確保		協議会において、個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組みの実施及び取組みを行うために必要な協議会の体制確保	
目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)	目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)	目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)
有	有	有	有	有	有

〈令和6年度の計画達成状況及び具体的な取組み〉

- ・基幹（マクロ）・委託（メゾ）・指定特定（マイクロ）の3層構造に整理している。
- ・社会資源の把握は委託が、広域的な対応は基幹が担っている。

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・課題：委託相談支援事業所の存在の周知が必要
- ・評価できること：委託相談支援事業所によるサービス未利用者訪問ができた。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・自立支援協議会や委託相談支援事業所のPRとして、岸和田市民音楽祭に出展し、その存在をPRできた。

【令和8年度末までの目標値】

- ・報酬の審査体制の強化：実施
- ・研修等の実施：実施
- ・指導権限を有する者との協力・連携：実施

【目標設定の考え方】

報酬の審査体制の強化のため、障害者自立支援審査支払等システムの審査結果の事業所・関係機関等との共有に努める。

不正請求の未然防止の観点からの報酬の審査体制の強化等の取組み、指定権限を有する者との協力連携、適正な指導監査等の実施等の具体的取組	
目標 (令和8年度末)	実施状況 (令和6年度末)
大阪府及び関係機関等と協力・連携のための協議の場や研修等への参加を継続するとともに、その充実にも取り組む。	広域事業者指導課と連携し、指導監査の情報の共有を行った。また、障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の公表を行った。

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・計画的に実地指導を実施し、情報共有を行った。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・職員の資質向上のため、積極的に研修等への参加を促す。
- ・広域事業者指導課等との連携を継続するとともに、請求審査結果の分析の充実などを通じて適正な事業運営の確保とサービスの質の向上に努める。

第3期岸和田市障害児福祉計画 成果目標シート

成果目標	障害児支援の提供体制の整備等
------	----------------

【令和8年度末までの目標値】

- ・ 児童発達支援センターの設置：設置
- ・ 児童発達支援センター等を活用した障害児の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進する体制：保育所等訪問支援を活用した推進体制を継続
- ・ 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業者数：5カ所
- ・ 主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業者数：5カ所
- ・ 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置：設置済
- ・ 医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置：3人配置（福祉関係1人、医療関係2人）

【目標設定の考え方】

目標値はおおむね達成しているが、引き続き支援の充実に努める。

【重層的な地域支援体制の構築をめざすための児童発達支援センターの設置および障がい児の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進する体制の構築】

児童発達支援センターの設置（箇所）		障がい児の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進する体制の構築	
目標 （令和8年度末）	実施状況 （令和6年度末）	目標 （令和8年度末）	実施状況 （令和6年度末）
1	1	有	有

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・ 児童発達支援センターや地域の障害児通所支援事業所から保育所等訪問支援を提供する環境が整備されており、障害児の地域社会へのインクルージョンの推進に寄与できている。
- ・ 児童発達支援センターの中核機能の強化が課題である。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・ 児童発達支援センターの所管課と連携し、事務内容の見直しを進める。

【主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保】

主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所の確保（箇所）		主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所の確保（箇所）	
目標 （令和8年度末）	実施状況 （令和6年度末）	目標 （令和8年度末）	実施状況 （令和6年度末）
5	5	5	5

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・ 目標値の事業所数を確保できている。引き続き保護者や児童が必要とする支援を受けられるよう環境整備に務める。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・ 保護者の受給者証申請時や相談支援専門員のモニタリング報告時に必要な支援を利用できているか聞き取り、適宜、案内助言を行う。

【医療的ケア児支援センターの設置、医療的ケア児等支援のための関係機関の協議の場の設置及びコーディネーターの設置】

医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場		医療的ケア児等に関するコーディネーター（人）						
目標 （令和8年度末）	実施状況 （令和6年度末）	目標 （令和8年度）	うち 福祉関係	うち 医療関係	実施状況 （令和6年度）	うち 福祉関係	うち 医療関係	達成率 （%） （令和6年度）
有	有	3	1	2	3	1	2	100

〈状況分析〉（課題や評価できること）

- ・目標値の医療的ケア児等コーディネーターを配置できている。
- ・医療的ケア児等コーディネーターを中心とした支援体制の構築が課題である。

〈令和7年度における取組み等〉（課題を解決するための取組等）

- ・医療的ケア児等コーディネーターを中心とした支援体制の在り方について、関係機関と連携しながら検討を行う。